

# ワイン作り楽しみ 原中で講座始まる

原村原中学校の総合的な学習の時間「原村学」で、3年生の講座別の学習が30日、始まった。今年度は4講座に分かれてそれぞれ活動に取り組



小林さんの指導でブドウの木の脇芽や巻きづるを切る生徒

む。このうち、自分たちで栽培したブドウでワインを作る講座「原中ワインをつくらう」は25人が選択。初回はワイン用のブドウの木の芽かきを行った。

原村学では学年ごとにテーマを設け、村への愛着を育む

学習に取り組んでいる。ワイン講座は7年目。村内でワイン作りに取り組む小林峰一さん(61)＝中新田＝の指導の下、生徒たちは同校中庭に植

わるブドウの木を1人1本ずつ受け持ち、栽培して収穫。委託醸造してオリジナルワインを完成させ、二十歳の成人式でみんな味わう計画だ。

この日、小林さんから栽培管理のこつや、今後必要な作業について教わった生徒たちは、中庭に移動して芽かきに取り組んだ。葉の付け根から伸びた脇芽や巻きづるを、はさみを使って丁寧に取り除いていた。小林さんによると、ブドウの生育は順調という。

松崎望乃さん(15)と瀬澤志乃さん(14)は「管理をしっかりと、甘くて飲みやすいワインができたら」と話していた。

生徒たちは日々管理を行い、9月中旬頃の収穫を予定している。

(町田陽)